

1. 図書館のあゆみ

- | | |
|-----------------|--|
| 明治44 (1911) 年7月 | ・ 東郷慎十郎氏等の寄付を基に、町立図書館として、鎌倉小学校（現在の第一小学校）内に設立 |
| 大正12 (1923) 年9月 | ・ 関東大震災で倒壊のため閉館、のちに第一小学校の教室で再開 |
| 昭和11 (1936) 年5月 | ・ 間島弟彦夫人愛子氏からの建設費寄付により、大町蔵屋敷の御用邸跡（現在の御成小学校）に新館設立（10月開館） |
| 19 (1944) 年3月 | ・ 軍に接收され閉館 |
| 21 (1946) 年6月 | ・ 図書館再開 |
| 25 (1950) 年7月 | ・ 図書館法施行にあたり、「鎌倉図書館」を「鎌倉市図書館」に改称 |
| 37 (1962) 年6月 | ・ 団体貸出開始 |
| 45 (1970) 年6月 | ・ 腰越貸出所開設 |
| 46 (1971) 年10月 | ・ 資料の複写サービス開始 |
| 12月 | ・ 大船子ども文庫開始 |
| 48 (1973) 年4月 | ・ 深沢子ども文庫開始 |
| 49 (1974) 年10月 | ・ 中央図書館開館（10月1日） |
| 12月 | ・ 中央図書館に視聴覚ライブラリー開設、16ミリ映写機類の貸出開始 |
| 50 (1975) 年11月 | ・ 大船貸出所開設 |
| 52 (1977) 年10月 | ・ 中央図書館で「おはなし会」開始、52年から全館で定期的実施 |
| 55 (1980) 年5月 | ・ 視覚障がい者への録音図書郵送貸出サービス開始 |
| 57 (1982) 年10月 | ・ 深沢図書館開館（深沢行政センター内）、深沢子ども文庫廃止 |
| 61 (1986) 年8月 | ・ 大船図書館開館（大船行政センター内）、大船貸出所、大船子ども文庫廃止 |
| 62 (1987) 年4月 | ・ 中央図書館でCD貸出開始 |
| 平成2 (1990) 年4月 | ・ 玉縄図書館開館（玉縄行政センター内） |
| 3 (1991) 年4月 | ・ 中央図書館でビデオ貸出開始 |
| 6月 | ・ 中央図書館に外国語図書コーナー開設 |
| 4 (1992) 年4月 | ・ 祝日開館試行 |
| 7 (1995) 年7月 | ・ 神奈川県図書館情報ネットワーク（K L - N E T）加入 |
| 8 (1996) 年10月 | ・ 祝日開館本実施 |
| 9 (1997) 年8月 | ・ 市内全館コンピューターオンラインシステム導入 |
| 11月 | ・ 夜間開館試行（平日の木・金曜日、17：00～19：00） |
| 10 (1998) 年2月 | ・ 大船図書館にAV（視聴覚）資料配置 |
| 10月 | ・ 第1回「リサイクル図書展」開催（平成11年度から「図書リサイクル」に名称変更、平成18年度まで毎年1回開催） |
| 11 (1999) 年3月 | ・ 投書箱「利用者の声」設置 |
| 4月 | ・ 藤沢市図書館との広域利用実施 |
| 7月 | ・ 市のホームページに図書館のページを開設 |
| | ・ 腰越図書館開館（腰越行政センター内）、AV資料配置 |
| | ・ 夜間開館開始（平日の木・金曜日、17：00～19：00） |
| | ・ 「おひざにだっこのおはなしかい」各館で開催、以後定期的実施 |
| | ・ 図書館所蔵資料のインターネット検索サービス開始 |

- 12 (2000) 年 3 月 ・ 「鎌倉市図書館サービス計画」策定
- 8 月 ・ 玉縄図書館にAV資料配置
- 13 (2001) 年 4 月 ・ 定期休館日を月 1 回（毎月最終月曜のみ）とする：開館日の拡大
- 7 月 ・ 「としょかんいんになってみよう！（一日図書館員）」開催始まる
- 8 月 ・ 国立国会図書館総合目録ネットワークへの参加承認される
- 9 月 ・ 深沢図書館にAV資料配置
- 9 月 ・ 「鎌倉市図書館資料管理方針」が図書館協議会の討議を経て策定
- 11 月 ・ 第一期「おはなしボランティア養成講座」開催
- 12 月 ・ 市内各図書館にCD-ROM検索用パソコン導入
- 14 (2002) 年 5 月 ・ JR鎌倉駅構内に返却ポストを設置
- 10 月 ・ 中央図書館に検索用インターネットコーナーを設置
- 15 (2003) 年 4 月 ・ 各地域館に外国図書配置
- 7 月 ・ 「図書館子ども会議」（子ども利用者懇談会）開催
- 10 月 ・ 鎌倉女子大学との協力開始
- 16 (2004) 年 3 月 ・ コンピューターシステム更新、携帯電話からの蔵書検索サービス開始、館内の検索用端末（OPAC）からの予約受付開始等
- 4 月 ・ インターネットでの予約受付開始
- 10 月 ・ マンガの貸出開始
- 10 月 ・ DVD貸出開始
- 10 月 ・ 「鎌倉市図書館資料管理基準」が図書館協議会の討議を経て策定
- 17 (2005) 年 4 月 ・ 子ども向け行事でのボランティアとの協働開始
- 7 月 ・ ブックスタート開始
- 12 月 ・ 「図書宅配便」「障がいのある方への無料郵送サービス」開始
- 18 (2006) 年 10 月 ・ 地域図書館に検索用インターネットコーナーを設置
（腰越図書館のみ11月設置）
- 19 (2007) 年 1 月 ・ 中央図書館に「からだといのちの図書コーナー」を設置
- 4 月 ・ JR大船駅に返却ポスト設置
- 10 月 ・ オンラインデータベースの導入
- 10 月 ・ デイジーの郵送貸出開始
- 20 (2008) 年 2 月 ・ 中央図書館に「よむべえ」導入
- 3 月 ・ 「鎌倉市子ども読書活動推進計画」策定
- 3 月 ・ 中央図書館に多目的エレベーターの設置
- 4 月 ・ 図書リサイクルコーナーを全館に設置
- 9 月 ・ 図書館協議会市民委員の公募開始
- 10 月 ・ 市民協働事業としてファンタスティック☆ライブラリー2008を開催
- 21 (2009) 年 9 月 ・ 図書の貸出点数を10冊に拡大
- 10 月 ・ コンピューターシステム更新
- 11 月 ・ 「あかちゃんと楽しむおはなしかい」初開催、以後各館で年2回開催
- 22 (2010) 年 7 月 ・ 市内小・中学校教職員対象図書館実務研修開始
- 11 月 ・ デイジー再生機器「プレクストーク」貸出サービス開始

- 12月 ・ 高校生によるポップ大賞を選ぶイベントを開催
- 23 (2011) 年 3月 ・ 電子図書館の実証実験実施 (23年3月まで)
- 7月 ・ 東日本大震災：協働事業2件中止、夜間開館の一時中止
- 9月 ・ 鎌倉市図書館開館100周年記念式典開催
- 10月 ・ ツイッター開始
- 10月 ・ 図書館振興基金条例交付、基金の募金活動開始
- 24 (2012) 年 3月 ・ 百年史資料、所蔵貴重資料整理事業
- 4月 ・ 寄贈された政党新聞の閲覧開始
- 10月 ・ 「ぬいぐるみのおとまり会」初開催
- 12月 ・ 広告募集開始
- 25 (2013) 年 1月 ・ 図書館福袋の貸し出し始まる
- 2月 ・ 「第二次鎌倉市子ども読書活動推進計画」策定
- 5月 ・ 暮らしのお役立ち講座@としょかん初開催
- 6月 ・ 本の修理講座開始 (中央図書館)
- 10月 ・ 大船図書館、耐震工事实施による部分開館 (翌年2月まで)
- 26 (2014) 年 3月 ・ 国際ソロプチミスト鎌倉から読書活動推進のための軽自動車の寄付を受ける
- 4月 ・ 「第2次鎌倉市図書館サービス計画」策定
- 7月 ・ 国立国会図書館のデジタル化資料送信サービスを提供
- 12月 ・ 鎌倉国宝館連携講座開始
- 27 (2015年) 3月 ・ 図書館新システム稼動 (WEBリクエスト、デジタル化資料の公開等)
- ・ マンガの予約受付開始
- ・ 鎌倉市川喜多映画記念館連携講座初開催
- ・ サイエンスカフェ初開催
- ・ 団体貸出を廃止
- ・ 国立国会図書館「レファレンス協同データベース」への多くのデータ登録に対し、国立国会図書館長より御礼状授与
- 12月 ・ 手話付きおはなしかい初開催
- 28 (2016) 年 3月 ・ 利用者懇談会
- 7月 ・ 図書館独自ネットワーク開設
- 12月 ・ 中央・腰越・玉縄図書館に入館者カウンター設置
- 29 (2017) 年 3月 ・ 横浜市との相互利用開始

平成29年度のあゆみ

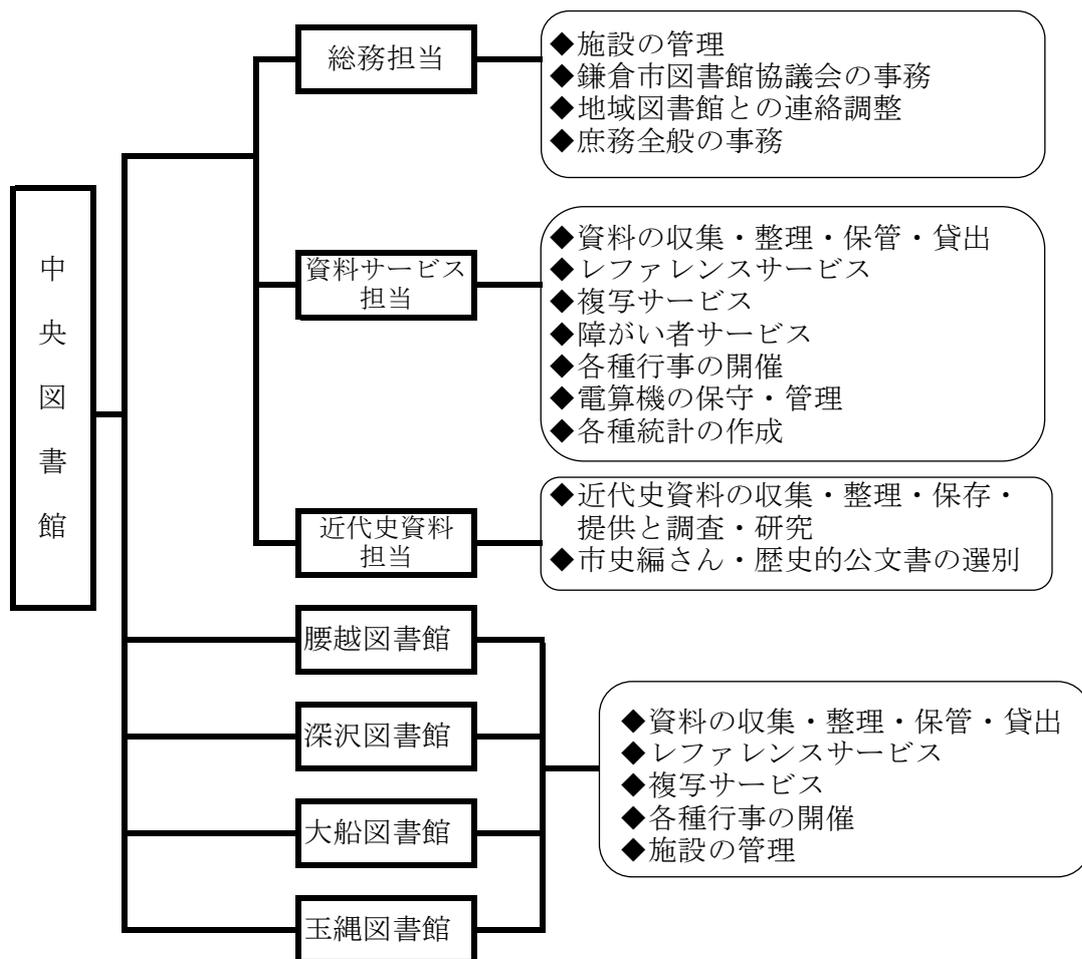
平成29年

- 4月
 - ・こどもの読書週間展示（4月23日～5月12日）
 - ・深沢・大船図書館に入館者カウンター設置
 - ・国宝館スペシャル「鎌倉幕府と慶派のほとけ」（4月22日 中央図書館）
 - ・子ども読書活動推進計画に関する連絡会議（4月24日 中央図書館）
- 5月
 - ・「本の海サポーターズ交流会」（6月15日 深沢学習センター）
 - ・「神話と昔話～柳田国男を介して～」（5月7日 中央図書館）
 - ・手話付きおはなし会（市内各館）
 - ・市民協働事業「田んぼ体験のち青空図書館」（5月20日 腰越図書館）
 - ・子ども読書活動推進計画に関する連絡会議（5月30日 中央図書館）
 - ・展示「ブックカーニバル 鎌倉文士とゆかりの映画」（5月30日～6月25日 中央図書館）
- 6月
 - ・ブックカーニバル：本づくりワークショップと活版印刷体験（6月10日 中央図書館）
 - ・市民協働事業「ホテルを観よう！」（6月17日 腰越図書館）
 - ・試行による開館時間の変更（6月1日～8月31日 大船・玉縄図書館）
 - ・市民協働事業「玉縄の歴史と文化は深い」（6月1日～7月30日 玉縄図書館）
 - ・子ども読書活動推進計画に関する連絡会議（6月29日 中央図書館）
- 7月
 - ・中国影絵（7月16日 中央図書館）
 - ・市内小中学校教職員対象の図書館実務研修を開催（全3日間）
 - ・「としょかんいんになってみよう（一日図書館員）」（市内各館）
 - ・「ぬいぐるみのおとまり会」（中央図書館）
 - ・子ども読書活動推進計画に関する連絡会議（7月18日 中央図書館）
- 8月
 - ・平成29年度第1回図書館協議会開催
 - ・図書宅配便の料金が実費負担となる
 - ・「おすすめの本のPOPをつくろう！」募集（9月30日まで）
- 9月
 - ・特別展「関東大震災一空からの記録を読む 鎌倉・湘南・三浦半島」（9月2～4日 中央図書館）
 - ・市民協働事業 連続講座「玉縄の歴史」（10月まで 全3回 玉縄学習センター）
- 10月
 - ・「ファンタスティック☆ライブラリー106」を開催（10月22～11月6日）
 - ・平成29年度第2回図書館協議会開催
- 11月
 - ・市民協働事業「玉縄の歴史を巡る会」（全2回）
 - ・市民協働事業「イモ掘り体験in広町」（11月3日 腰越図書館）
 - ・職場体験受入（市内各館）
- 12月
 - ・暮らしのお役立ち講座「インターネットをめぐる消費者トラブルを防ごう!!」（12月9日 玉縄学習センター）
 - ・「英語のおはなしかい」（12月21日 深沢図書館）
 - ・子ども読書活動推進計画に関する連絡会議（12月26日 中央図書館）

平成30年

- 1月
 - ・鎌倉市川喜多映画記念館とのコラボ企画「巨匠が愛した女優たち」（1月13日 中央図書館）
 - ・市民協働事業「自然を伝える絵本作家のお話」（1月14日 腰越行政センター）
 - ・平成29年度第3回図書館協議会開催
- 2月
 - ・おはなしボランティアステップアップ講座（2月9日 深沢学習センター）
 - ・第3次鎌倉市子ども読書活動推進計画策定
- 3月
 - ・利用者懇談会（3月18日 中央図書館）
 - ・「若者の命と心を守るゲートキーパー養成講座」（3月24日 中央図書館）
 - ・サイエンスカフェ「たたら製鉄その2」（3月17日 腰越学習センター）
 - ・平成29年度第4回図書館協議会開催

(2) 図書館の組織・主な事務内容



(3) 図書館職員

(平成30年4月1日現在)

	職員	嘱託員	嘱託員備考
中央図書館長	1人		
総務担当	1人	2人	※総務課付
資料サービス担当	8人(1) + [再1]	15人	うち専門業務2人
近代史資料担当	1人(資料サービス担当と兼務)	5人	※うち近代史1人、総務課付2人、歴史的公文書2人
腰越図書館	3人	6人	
深沢図書館	3人	6人	
大船図書館	3人	6人	
玉縄図書館	3人	6人	うち専門業務2人
計	22人(1人) + [再1人]	46人	

* 資料サービス担当中、(1)は育児休業中の職員が1人、うち数。[再1]は再任用職員が1人。
 近代史資料担当は資料サービス担当のうちの1人と兼務。職員のうち司書有資格者20人、図書館専門業務嘱託員は司書有資格者。図書館業務嘱託員総数のうち司書または司書補有資格者は31人。

(4) 図書館内各種委員会

鎌倉市図書館では、各種サービスや運営方法を各種委員会で検討・実施しています。

① 館長会議

図書館運営に関わる決定機関です。各種会議の報告や各館の情報交換も行っています。市内5館の館長及び係長以上の職員で構成されています。

② 児童奉仕委員会

0歳からの子どもと、子どもを取り巻く大人へのサービス全般を担当しています。

- ・ おはなし会、おひざにだっこのおはなしかい、あかちゃんと楽しむおはなし会の定例行事を開催しています。
- ・ 小学生向けの「なつやすみにおすすめのほん」のリストを作成しています。
- ・ 年齢別におすすめする本のリストを作成・発行・配布しています。
- ・ 学校との連携を進めています。おはなし会、ブックトークなどの訪問サービスや教職員・PTAが主催する講座、研修会に講師を派遣する等、講座・講演会を実施しています。
- ・ 市の関連課と連携してブックスタート事業を実施しています。
- ・ 子どもへのサービスをより充実させるため、ボランティアを養成しています。

③ 資料管理委員会

図書・雑誌・新聞・AV等の資料の管理を行う委員会です。

- ・ 「鎌倉市図書館資料管理方針」（平成13年9月）および「鎌倉市図書館資料管理基準」（平成16年10月・22年4月一部改定）に基づき、資料の収集・保存・除籍等の基準の策定、見直し、管理を行います。
- ・ 雑誌・新聞の新規購入・寄贈受入・中止について検討をします。

④ 運用委員会

よりよい図書館サービスのため、サービス提供の方法等を検討する委員会です。

- ・ 貸出・登録・予約等のサービスやカウンター業務がスムーズに行われるように運用方法を検討します。
- ・ 「図書館の自由」に関わる問題が起きたとき、対応を検討します。
- ・ 個人情報保護の側面から図書館業務を検討します。

⑤ PR委員会

より図書館に親しんでもらうため、広報活動を行う委員会です。

- ・ 館報「かまくら図書館だより」や「テーマ別本のリスト」を編集・発行しています。
- ・ 図書館利用を促進するための配布物の作成、行事の企画・実施をしています。
- ・ ホームページ、ツイッターの企画・更新をしています。

⑥ YA委員会

ヤングアダルト（10代）層に図書館や本に親しんでもらうための企画を立案・実施する委員会です。コーナーの整備やイベント企画をしています。

3. 図書館協議会

図書館協議会は、図書館の管理運営に関し図書館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館サービスについて館長に意見を述べる機関です。

図書館法の定めにより設置され、社会教育関係者、学校教育関係者、学識経験者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、市民公募による者の5名で構成されています。

開会日時	主な審議・報告事項等
平成29年 第1回 8月3日(木) 14:00~16:00	<ul style="list-style-type: none"> ・鎌倉市図書館振興基金による資料の購入について(審議) ・平成29年度図書館事業の予算について(報告) ・第3次鎌倉市子ども読書活動推進計画について(報告) ・非常勤嘱託員を中心とした体制と開館時間の延長等の試行について(報告)
第2回 10月12日(木) 10:00~12:10	<ul style="list-style-type: none"> ・非常勤嘱託員を中心とした体制及び夜間開館の延長等試行の評価について(審議)
第3回 平成30年 1月18日(木) 10:00~11:00	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度以降の図書館の運営体制について(報告) ・鎌倉市図書館のビジョンの策定について(報告)
第4回 3月28日(水) 10:00~12:00	<ul style="list-style-type: none"> ・鎌倉市図書館の事業における平成29年度の重点項目とその成果及び平成30年度の重点項目について(審議) ・第3次鎌倉市子ども読書活動推進計画の策定について(報告) ・鎌倉市図書館のビジョン骨子(案)について(報告)

委員名簿(定数5名)

(敬称略)

任期	氏名	職業又は役職	選出区分
平成28年12月16日 ～ 平成30年12月15日	鍛治 哲郎	鎌倉女子大学教授	学識経験者
	高村 清美	鎌倉市立第二小学校	学校教育関係者
	梨本 加奈	鎌倉女子大学准教授	社会教育関係者
	杉山 恵子	鎌倉市図書館おはなしボランティア	家庭教育の向上に資する活動を行う者
	中村 七海	市民	市民公募

4. 鎌倉市図書館一覧

		中央図書館	腰越図書館	深沢図書館
所在地		御成町20-35	腰越864 (腰越行政センター内)	常盤111-3 (深沢行政センター内)
電話		25-2611	33-0711	48-0022
FAX		FAX 24-6544	FAX 設置なし	FAX 43-5676
開館年月		旧：1911(明治44)年 7月 新：1974(昭和49)年 10月	1999(平成11)年 3月	1980(昭和55)年 5月
対象地域人口 (平成30年4月1日現在)		46,433人	24,132人	33,527人
面積	一般コーナー	575m ²	240m ²	380m ²
	児童コーナー	143m ²	130m ²	126m ²
	ブラウジング コーナー	56m ²	35m ²	42m ²
	AVコーナー	58m ²	30m ²	—
	地下書庫	314m ²	92m ²	168m ²
延床面積(その他含)		2,576m ²	684m ²	820m ²
閲覧席	一般	104席	16席	12席
	児童	18席	13席	6席
	その他	11席	30席	24席
	計	133席	59席	42席

※その他…ソファ、長イスなど

大船図書館 大船2-1-26 (大船行政センター内) 45-7710 FAX 設置なし	玉縄図書館 岡本2-16-3 (玉縄行政センター内) 44-2218 FAX 設置なし	計
1982(昭和57)年 10月	1987(昭和62)年 4月	
43,286人	24,816人	172,194人
190 m ² 135 m ² 40 m ² 8 m ² — 462 m ²	224 m ² 123 m ² 72 m ² — — 512 m ²	1,609 m ² 657 m ² 245 m ² 96 m ² 574 m ² 5,054 m ²
6席 12席 20席 38席	17席 12席 21席 50席	155席 61席 106席 322席

5. 平成29年度図書館費

(1) 予算・決算 (含む30年度予算)

単位：千円

	平成29年度 (当初予算)	平成29年度 (決算)	平成30年度 (当初予算)
一般会計	59,850,016	58,297,233	59,683,434
教育費	5,534,781	5,699,366	5,579,180
社会教育費	1,740,380	1,687,540	1,684,788

	平成29年度 (当初予算)	平成29年度 (決算)	平成30年度 (当初予算)		
図書館費	135,222	131,053	143,935		
内 訳	報酬	50,966	50,462	57,742	
	賃金	298	297	306	
	報償費	10	9	10	
	旅費	3,500	2,526	3,637	
	需用費	36,401	35,808	36,967	
	内 訳	消耗品費	28,189	27,739	28,760
		燃料費	816	1,184	903
		印刷製本費	226	0	238
		光熱水費	5,711	4,830	5,670
		維持修繕料	1,220	1,866	1,220
		備品修繕料	108	108	108
		車輛修繕料	131	81	68
	役務費	3,648	3,447	3,704	
	内 訳	電信料	1,948	1,762	2,001
		運搬料	78	74	81
		手数料	1,540	1,540	1,540
		保険料	82	71	82
	委託料	16,136	13,899	15,319	
	使用料及び 賃借料	22,719	22,380	22,380	
	備品購入費	0	0	432	
負担金補助及び交付金	386	386	86		
積立金 (図書館振興基金)	1,158	1,839	3,352		

予算の主な内訳

- 一般会計： 鎌倉市全体の予算
 - 報酬： 図書館協議会委員・各館の図書館業務嘱託員への報酬など
 - 報償費： 図書館行政協力者への謝礼など
 - 需用費： 予算一覧表内訳のとおり
 - 消耗品費： この中に図書館資料（本・雑誌・新聞・AV資料）や、文具類の購入費が含まれます
 - 印刷製本費： 写真資料の複写・バーコードラベルの印刷費など
 - 役務費： 予算一覧表内訳のとおり
 - 手数料： 図書館建物の維持管理のための経費。各種機器の保守点検など
 - 使用料及び賃借料： 主に図書館の全コンピューターシステム稼動の費用
 - 負担金補助及び交付金： 日本図書館協会や神奈川県図書館協会の分担金など
 - 積立金： 鎌倉市図書館振興基金への積立金など（寄附金額）
- ※ 図書館費には、一般職員の給料、職員手当などは含まれていません

（２）資料購入費

図書館の予算のうち、資料購入費は次のとおりです。
 図書資料には、図書のほか雑誌、新聞の購入費等を含みます。

		平成29年度		平成30年度
		当初予算	決算	当初予算
中央図書館	図書資料費	19,219,688	19,583,034	19,670,817
	AV資料費	100,000	102,420	100,000
	計	19,319,688	19,685,454	19,770,817
腰越図書館	図書資料費	1,632,845	1,694,105	1,705,218
深沢図書館	図書資料費	2,022,648	1,741,258	2,101,301
	(うち学校貸出)	(350,000)	(110,179)	(450,000)
大船図書館	図書資料費	1,790,205	1,689,076	1,784,580
玉縄図書館	図書資料費	1,560,842	1,550,692	1,628,472
全館計	図書資料費	26,226,228	26,258,165	26,890,388
	AV資料費	100,000	102,420	100,000
	計	26,326,228	26,360,585	26,990,388

※ 平成27年度から、新聞、雑誌、学校貸出等一部を除き、中央図書館での集中執行としました。

6. 平成29年度の主な事業実施報告

1 だれにでもわかりやすい図書館ホームページの構成

※ サービス計画-I 図書館は生涯学習の拠点-1 図書館ネットワークの構築

図書館システムのバージョンアップにより、利用者の利便性の向上に努めました。
絞り込み検索機能が向上しました。
Webアクセシビリティに留意したホームページ構成としました。

2 地域状況にあった利用しやすい図書館をめざした開館時間変更の試行実施

※ サービス計画-I 図書館は生涯学習の拠点-1 図書館ネットワークの構築

大船図書館・玉縄図書館の開館時間の変更を試行しました。
特別整理休館を見直し、期間を短縮しました。

3 市民活動団体との連携で、身近な図書館づくりのための発信

※ サービス計画-III 市民とともに創る図書館-1 市民参画と協働

市民提案事業の一環として、新たな市民団体とも連携協力し、交流の場を提供するとともに、生涯学習の成果を市民財産である図書館資料として保存活用を行いました。

4 鎌倉らしいコンテンツの制作と発信

※ サービス計画-II 鎌倉ならではの図書館
-2 図書館からの情報発信

近代史資料室で所蔵している貴重な写真資料の活用をすすめるため、著作権の許諾がとれている鈴木正一郎氏撮影の写真を、デジタル化しホームページ上で公開しました。
平成29年度に鎌倉駅地下道展示する予定の作品もふくめ100点をデジタル化しました。

5 子どもたちと図書館をむすぶ環境づくり

※ サービス計画-I 図書館は生涯学習の拠点
-2 利用者に応じた読書の支援- (1) 子どもの読書環境の推進

第3次子ども読書活動推進計画を策定しました。
市民委員を含めた委員による鎌倉市子ども読書活動推進計画策定連絡会議を開催し、計画を策定しました。

7. 平成30年度の重点事業

1 第3次図書館サービス計画の策定

※ サービス計画

方針Ⅰ 図書館は生涯学習の拠点—3 資料・情報の提供—

(1) 資料・情報提供（貸出・閲覧）—ア 選書、収集方針

※ サービス計画方針Ⅱ 鎌倉ならではの図書館—2 図書館からの情報発信

※ サービス計画方針Ⅲ 市民とともに創る図書館—1 市民参画と協働

第2次図書館サービス計画の最終年度であり、計画の進捗と新たな図書館サービスの可能性を検討します。

図書館運営方針への市民参画（利用者懇談会の開催、パブリックコメントの実施）、資料管理の強化（地域資料の収集・提供の組織化、資料管理方針の改訂の準備）を検討します

2 地域図書館の発信力強化

※ サービス計画 方針Ⅲ 市民とともに創る図書館—1 市民参画と協働

地域活動の発信拠点として、地域の活性化に役立つ資料と場所の提供に努めます。

3 図書館サービスの市民への見える化

※ サービス計画方針Ⅱ 鎌倉ならではの図書館—2 図書館からの情報発信—

(2) 図書館運営の情報公開

図書館の実績をわかりやすく伝える、図書館の便利なサービス、役割を広く伝えるよう努めます。

4 高齢者支援

※ サービス計画および高齢者保健福祉計画 図書館は生涯学習の拠点—2 利用者に応じた読書の支援

(3) 高齢者支援

認知症にやさしい図書コーナー設置、大活字本や朗読CD等音声資料の充実に努めます。

5 図書館の利用に障害がある方への支援

※ サービス計画方針Ⅰ 図書館は生涯学習の拠点—2 利用者に応じた読書の支援

(4) 図書館の利用に障害がある方に対する支援

ア 図書館の利用に障害がある方への支援

サピエ（厚生労働省補助事業「視聴覚障害者情報提供ネットワークシステム整備事業」）に加入します。

6 職員研修の体系化

※ サービス計画方針Ⅲ 市民とともに創る図書館—5 市民の活動を支える職員の配置と研修

キャリアに添った、段階的・継続的な研修の計画を確立し、実行していきます。